



皆さんの声を議会へ

当市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問において、個人質問と代表質問が認められています。代表質問は会派代表者が市政執行方針等に対して行うもので、改選年を除いて3月定例会において行われています。住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、6名の議員が質問しました。

質問者	全質問項目
荒木 文一 (市民ネットワーク)	大規模災害対策 エネルギー価格及び物価高騰対策 滝川駅周辺整備 市内バス路線の運行継続 第3期滝川市子ども・子育て支援事業計画 不妊治療支援事業 保育所における保育環境の向上 国学院大学北海道短期大学部の学生確保 滝川第一小学校の改築 滝川市B&G海洋センター 滝川市立病院 鳥獣被害対策 農業の第三者経営継承 Letara(株)への支援 空家等対策 ふるさと納税
安楽 良幸 (新政会)	令和6年度における市政運営 滝川駅周辺整備 企業誘致 児童館・放課後児童クラブなどの運営見直し 学校給食費の支援 国際交流事業の推進 市立病院における広域医療連携のさらなる推進 介護人材の確保 ヒグマ対策 滝川ふれ愛の里の管理運営 観光振興 Letara(株)への支援 空家等対策 ふるさと納税 コミュニティ・スクール 部活動の地域移行
三上 裕久 (公明党)	滝川駅周辺整備 公共交通の維持・確保 市政運営における財源確保 (仮称)滝川市子ども計画の策定 介護職員の支援 带状疱疹予防ワクチン ヒグマ対策 観光情報のPR 滝川ふれ愛の里の管理運営 除雪環境の整備 DX推進 いじめ防止 不登校児童生徒・保護者への支援
高橋江海子 (れいわ新選組)	災害への適切な備え 多様性を認め、誰もが個性を生かし活躍できるまちづくり 不登校支援 情報モラル教育の推進
柴田 文男 (21フォーラム)	本年の一字「敏」について 滝川駅周辺整備 市内バス路線の運行継続
寄谷 猛男 (日本共産党)	公共施設個別施設計画前期計画の見直し 児童館・放課後児童クラブなどの運営見直し 子ども医療費無償化及び学校給食の公費負担 高齢者福祉 防災 地域農業の支援 国民健康保険の税率改定 「AI(人工知能)ドリル」の導入 学校図書館の充実

第1回定例会 代表質問から

改築について 滝川第一小学校の



荒木 文一
市民ネットワーク

問 滝川第一小学校の改築というのはいわゆる建替えとの認識でよろしいのかを伺う。また「公共施設個別施設計画前期計画の見直し」により、令和11年度の開校予定が2年後に先延ばしとなっているが、必ず担保されるのかを伺う。

答弁 施設の老朽化が課題となっている滝川第一小学校については、令和6年度から現敷地内での建替えに向けた検討に着手し、必要な調整事項が整えば可能な限り早く実施したいと考えています。

問 駅周辺整備の基本計画策定に関して市民意見の聴取について触れられているが、パブリックコメントは高齢者を含め意見聴取が難しいという問題がある。他の手法等で実施する考えがあるかについて伺う。

答弁 より効果的な手法を取り入れながら策定作業を進めていきたいと考えていますので、アイデアがございましたら是非ともご意見をお寄せいただきたいと思います。

非ともご意見をお寄せいただきたいと思います。

問 医師の働き方改革をはじめ、病院経営上のかじ取りが大変難しくなることが予想される滝川市立病院について、病床数の見直し等、今後何らかの変更が生じる見込みなのかを伺う。

答弁 医師の働き方改革が施行され勤務医を取り巻く環境が大きく変化してきています。医育大学では、医師個人の総労働時間を管理する必要性があり、医師派遣に影響する可能性があります。

現段階では内科医不足により診療時間を縮小、制限せざるを得ない状況であり、市民の皆様には大変ご不便をおかけしますが、新年度は医師の招へいにより一層力を注ぎ、現在の病床数を含めた診療体制の維持に努めていきたいと考えています。

ついて 滝川駅周辺整備事業に



安楽 良幸
新政会

問 長年の懸念事項であった本市の玄関口である滝川駅周辺整備については、市民の皆さんや各団体の意見を聞きながら基本計画の策定に移行していくと考えるが、駅前の賑わいあふれる空間には何が必要かをしっかり精査し、将来の財政状況を見据え、身の丈に合った施設をスピード感を持って建設すべきだと思うが、市長の考えを伺う。

答弁 滝川駅周辺整備事業については、将来の持続可能なまちづくりに向けた基盤整備の一つでもあり、重要な政策かつ投資的事業と考えています。「まちの顔」としてどのような駅前であるべきか、必要な機能や規模など、市民の皆さんのご意見や民間事業者のノウハウをいただきながら、将来世代に過大な負担とならない「身の丈」にあった整備となるようスピード感を持ってしっかりと進めていきます。

問 本市では、子育て世帯の経済的支援を図るため、学校給食に係る食材費上昇分について公費負担しているが、先の見えない物価上昇に鑑み、将来的には食材費上昇分とは別に1割でも、2割でも公費負担を増額して、子育て世帯の負担を軽減すべきだと思うが、市長の見解を伺う。

答弁 学校給食費の公費負担については、必要性の認識は変わっていませんし、子育て世帯の負担軽減のためにも何らかの支援を行いたいと考えています。

令和6年度も給食費に係る食材費上昇分を公費負担する予算案を提案したところですが、将来的な公費負担の増額については、財源の捻出や子育て支援施策全体のバランスなどを総合的に勘案しつつ、少しでも保護者の負担軽減となる方法を考えていきます。

第1回定例会 代表質問から

再生整備について 滝川駅周辺地区の



三上 裕久
公明党

問 滝川駅周辺地区再生拠点整備基本計画の策定過程において、柔軟に市民の意見を取り入れ、必要な修正や変更を可能とすべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁 施設配置や機能、規模などについて幅広く市民の皆さんや民間事業者のご意見をいただきながら検討します。また、将来の財政状況に与える影響や様々な社会情勢の変化に対応した修正や変更を加えながら「身の丈」にあった整備内容に定めていきます。

問 滝川駅周辺地区再生拠点整備基本計画の策定過程において、市の一般会計、特別会計、企業会計の全体の起債償還、人口減による市税の減収、ふるさと納税の寄付額の減少等を鑑み、将来財政運営が立ち行かないと判断した場合の市長の判断を伺う。

答弁 基本計画の策定過程において、将

来的に財政運営が立ち行かなくなるような計画の策定は想定しておりませんが、将来的に財政状況の悪化が予見された際には、駅周辺整備事業の緊急停止も含め、市民生活に影響を及ぼさないよう、財政基盤の安全性を確保していかなければならないと考えています。

問 現在の市内線バス運行事業者による運行は、令和6年度末をもって終了するが、令和7年度以降の運行事業者の選定が不調に終わった場合の対策について伺う。

答弁 5月に予定している滝川市地域公共交通活性化協議会を経て、方向性を見出すことができると考えますが、令和7年度以降、市民の皆さんの足に空白ができないように、確実に市内線運行を継続できるよう鋭意努めていきます。

第1回定例会 個人質問から

パートナシップ制度について



高橋 江海子
れいわ新選組

問 パートナシップ制度の理解促進に向け、サービスを提供する市職員の人権意識を同じ水準にする必要があると考える。江別市のようなガイドラインを策定する計画はあるのかを伺う。

答弁 多様性についての理解促進の取り組みとして、情報発信のほかに当事者の皆さんから直接お話を聞くことが正しい理解につながってくると考えています。ガイドライン策定に関しては提言として受け止め、今後の課題といたします。

問 行政内のハラスメントは社会から厳しい目を向けられており、職員の離職等業務の支障につながり、ひいては市民サービスが低下し、市民のみならず社会からの信用及び信頼を失う行為だと考える。時代に合わせた防止条例の策定等、積極的な取り組みについて見解を伺う。

答弁 市職員のハラスメント対策として、職場におけるハラスメントの防止に関す

る要綱を制定しているほか、外部講師による研修を全職員を対象に実施したところです。また、市民の皆さんからの度を過ぎた苦情によって職員の仕事に支障をきたすカスタマーハラスメントも最近は度々見当たるときがあり、警察への相談を含め対策を検討しています。なお、条例の制定につきましては、他自治体の動向を見ながら考えていきたいと思っておりますので、何かお考えがありましたらご提案ください。

問 子ども達のICTを通じたトラブルは多様化、深刻化しており、子ども達が今後、被害者だけでなく、加害者にならないための対策について考えを伺う。

答弁 情報モラルの教育は継続的な指導が重要であると考えています。啓発文書だけでなく来年度からは、くらし支援課や消費者センターと協働で職員による出前講座を実施する予定です。

第1回定例会 個人質問から

市政運営の基本的な考え方について



柴田 文男
21フォーラム

問 ふるさと納税基準の厳格化などにより今後の財政運営に大幅なマイナス修正が加わることは明白である。将来の厳しい財政運営が予想される中であっても、教育のまち滝川の再生を掲げて本市のリーダーとなられた以上、教育環境の整備を後回しにすることがあってはならないと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 教育環境の整備を後回しにすることは考えてはおりません。目前の課題である小中学校の空調工事は早急を実施すべく、子どもたちの安全性の確保を最優先に取り組んでいきます。議員のご指摘につきましては、新年度予算に計上する「新小学校基本構想策定事業」により、第一小学校の建て替えを軸とし、最適な学習環境づくりを進めていきます。

問 駅前の再整備は多くの市民が待ち望む一方で、資材費や労務費など建設費の上昇などの理由により、将来負

担の拡大を危惧する声もある。駅周辺の再整備をいかに進めるのか、現時点での考えを伺う。

答弁 議員ご指摘のとおり、再整備の事業費が市の財政運営の負担になることを不安視する声があることは承知していません。そうした声にしっかりと応えるため、補助金や起債など有利な財源の活用を配意し、できる限り将来負担を残さぬよう進めていきます。

問 令和6年度末で終了する市内バス路線について、どのような運行形態で存続を図られるのかを伺う。

答弁 現時点で具体的にお示しできることはありませんが、市民の皆さんの足に空白ができないように、令和7年4月以降も確実に市内線運行が継続できるよう鋭意努めていきます。

学校図書館を充実させる取り組みについて



寄谷 猛男
日本共産党

問 子どもたちに身近な学校図書館を充実させる取り組みについて伺う。

答弁 国が進める「学校図書館整備等5か年計画」では、図書の整備、新聞の配備、学校司書の配置の3点について、その充実を努めることとされています。図書の整備と新聞の配備については各学校が予算の範囲内で児童生徒の希望に応じて計画的に行い、市立図書館が「図書館学級文庫」という形で朝読書や休み時間に読む本を各学級に貸し出しています。学校司書は未配置ですが、本市では市立図書館の司書が学校図書館運営を全般にわたりサポートしているほか、PTAや地域のボランティアの方々から「図書の修繕」や「読み聞かせ」などの支援をいただいています。

問 児童館・放課後児童クラブなどの運営に民間事業者を活用する場合の児童厚生員の処遇について伺う。

答弁 児童館・放課後児童クラブなどにおいて、日々、子どもたちや保護者との信頼関係を築いてきた経験豊富な児童厚生員は、子どもたちに大きな影響を与える重要な存在です。民間事業者を活用する場合であっても基本的には児童厚生員の体制を大きく変更させる考えはありません。

問 高齢者の健康づくり・生きがいづくりにおける利用者向けの助成について伺う。

答弁 老人クラブや介護予防サロン事業の運営者、認知症カフェの開催団体などへの助成につきましては、団体に対する助成が利用者に還元される形での助成を行っています。今後どのような形の助成を行うことが高齢者の居場所づくりにつながるのかを考えていますので、ぜひともご提言をいただきたいと思います。